



9月9日、広島市 党中国ブロックの拡大幹事会 岡山からも3名が参加

衆議院議員選挙 中国ブロックの 比例候補に 金子哲夫氏を擁立



衆議院議員選・中国ブロックの 比例 予定候補 金子哲夫氏の決意

前回07年選挙を国政選挙最後のつもりで戦った。しかし受けたい以上、全力を挙げて11月11日の選挙に臨む。3・11以降、被災者に政治的責任を問われ、国民の怒りがあふれている。選挙は、国民の怒りを代弁する機会である。選挙は、国民の怒りを代弁する機会である。選挙は、国民の怒りを代弁する機会である。

全県党の総力を結集して 衆議院選挙を戦おう!

社民党岡山県連合代表 福島捷美

9月9日、社民党中国ブロック拡大幹事会は、「衆議院選挙はブロックは比例区のみで金子哲夫氏」を擁立して戦うことを決定。党の全国レベルでの決定要請に比較して諸般の事情により少しは遅れましたが、まだまだ、この決定は野田内閣の「近い内に解散」という公約の反古から比べれば遅れているとは思えません。

最近の民主党内閣は①消費税増税、②原発の再稼働、③原発ゼロ発議の内閣決定の見送り、④オスプレイの配備、⑤TPP参加など、反国民的動向に狂奔しております。まるで党名を変えれば自民党と全く変化はありません。私たち社民党は3年前の政権を奪取した時の三党(社・

見鶏で有名なのは神戸の異人商館だが、大阪の風にはどこを向いているか。「面接試験では入れてもらえるか、下手したら首になる」と気もそぞろ▼吹き出し源が「原発反対・消費税反対」といいながら、経済界と会った後は「夏場だけ」に急旋回。あげくは野田政権の「決める政治」を大絶賛、これでは風見鶏も目をまわそうか▼ときあたかも日韓中での「島」論争をして偏狭な「ナショナリズムの風」を暴風にしてはならない(の)

憲法を活かす生活者よさこい 真の地方自治をめざして 岡山知事選が10月11日告示、28日投票で始まる。石井県政4期のおとを受けて4氏が争う見込み。社民党は今回の知事選に当たって石井県政4期の総括からこれからの県政の在り方について議論知事選にのぞむ方針について議論を重ねてきた。

10月1日(土)	10月2日(土)	10月9日(金)	10月10日(水)	10月8日(月)
政治学講習会	岡山駅前ミヨシノ	弓之町「時事問題懇話会」	「新報」読者会	組織・機関紙委員会
金子哲夫	14時	18時	18時	14時

当面する活動 声を含め、排除でなくどれだけ民意を活かすか、民間経営者感覚で図れない課題は多い私たちが社民党は、今回の知事選にあたって①「憲法を活かした県政をつくる」②「働く人たちをはじめ、子どもや女性・高齢者の生活の安心のために、人と環境にやさしい県政を追求する」を指針にして、県民のために取り組んでいきます。予定候補者には、改憲を訴え、また、教育問題にも踏み込んだ発言をする人もいますが、いつでも改憲・教育への政治的介入に反対の声を上げていくことは私たち社民党の役割でもある。今知事選では、各予定候補との政策議論の場はなく、常任幹事会でも意見が交わされたが、現時点では一本に絞ることに至っていない。以上から、党員の判断に委ねることとした。(幹事長 武本恒夫)